

高耐久土系舗装を開発

景観配慮の街並み提供

大林組ら

大林組と大林道路、三光（東京都中央区、高木義幸社



オーククレーR

長）は、高耐久の土系舗装「オーククレーR」を開発した。歩道のほか、交通量の少ない軽交通道路にも適用可能で、公園や歴史的な街並みの観光地などで「環境に配慮した新たな景観」の提供を目指す。

近年、道路舗装で周辺環境と溶け込むための景観への配慮や道路の路面温度上昇対策といった要望が増えている。公園や街並みとの調和や保水による夏場の路面上昇抑制な

どのため、土系の舗装が注目されているものの、従来の土系舗装は使用する真砂土の含水率が高まると強度が低下して車両や繰り返しの歩行、経年劣化で路面が荒れやすくなり、歩道での適用に限られていた。

オーククレーRは、土の含水状態の影響を受けずに高い強度を発揮するポリマー混和材のレジバインダー（開発）大林組、三光を使うことで、含水率の影響を受けずに舗装材の強度を保てる。保水性も高く、夏場の路面温度の上昇を一般のアスファルト舗装に比べて最大18度抑制できる。

